



東通村と都市部との交流事業 第1弾 ～東通村のわらしと語ろう会 2019 in 浮間小学校～



6月8日（土）、東京都北区立浮間小学校を会場に、今年も「東通村と都市部との交流事業 ～東通村のわらしと語ろう会 2019 in 浮間小学校～」が開催されました。

この交流事業は、電力の生産地と大消費地の相互理解や交流を目的に、東通★東風塾（山崎孝悦 塾長）が中心となって平成16年から行ってきたもので、今年は交流開始16年目を迎えています。

例年、交流事業の第1弾として開催される「東通村のわらしと語ろう会」では、東通小学校5年生の“わらし”達が東京都北区立浮間小学校を訪れ、授業参加や東通村の紹介、郷土料理の体験活動を行っています。また、2泊3日の期間中は浮間小学校5年生の自宅へホームステイし、都市部での生活体験も行います。今年は、これまでで最も多い東通小学校5年生の児童13名が参加し、お互いの地域や文化の違いを理解しながら、東通村の自然や生活環境を再認識し、キャリア教育へとつなげていきます。

一方、浮間小学校の子ども達にとっては入学時から楽しみにしている交流事業で、学校行事として歓迎集会を開催し、共に授業や体験活動に取り組んでいます。今年は、昨年お披露目された“かんだちくん”のサプライズ登場に、“わらし”達が大盛り上がりを見せる場面もありました。

また、交流事業に合わせて東通村の特産品販売も行われ、保護者にとっても、東通村自慢の逸品を味わうことができる待ちに待った交流事業となっています。

今年も、東京都北区との様々な交流事業が予定されています。7月9日（火）～11日（木）には浮間中学校の2年生が村内の農園や漁協などで第1次産業の職業体験を行い、7月26日（金）～28日（日）には浮間小学校の5年生が東通村にホームステイします。村内で浮間の“わらし”達を見かけたら、ぜひ声をかけ、東通村の良さを伝えてあげてください。



初日はそれぞれのクラスで授業参加



一緒にべこもち作りを体験



“かんだちくん”も駆けつけました

尻屋崎灯台の改修工事が終了し、一般公開が再開されます



工事中は櫓のような足場が設置されました

本年4月から第二管区海上保安本部が実施していた尻屋崎灯台の改修工事が完了し、昨年大好評だった参観灯台業務（一般公開）が再開されます。

今回の改修工事は、昨年、日本の洋式灯台150周年を記念して、尻屋崎灯台が全国16基目の参観灯台となったことを受け行われました。改修工事では、過酷な尻屋崎の環境に耐え抜く外壁の塗り直しや、来場者の利便性や安全性を向上させるための内部改修等が行われました。また、工事の過程では143年前に初点灯した当時のレンガ積みや石積みの構造も発見され、一部はそのまま公開予定となっています。

一般公開は7月13日（土）から再開されます。生まれ変わった尻屋崎灯台に、ぜひ一度登ってみてはいかがでしょうか。